

令和8年度 通信教育実施計画						
松陰高等学校（本校／各学習センター）						
教科		科目		単位数	履修上の留意点	
理科		化学		4		
指導 目 標	(1)化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。					
	(2)化学的な事象・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
	(3)日常生活や社会の化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
教科書		副教材等		添削指導	面接指導	
化学 理論編・物質編				12回	16単位時間	
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習 による減免後の面接指導時間数		該当なし	
添削指導（レポート）						
回	学習内容				対応する 面接指導の回	提出期限
1	物質の状態 周期表と元素 非金属元素の単体と化合物、典型金属元素の単体と化合物				1	5月13日
2	物質の状態 気体の性質 典型金属元素の単体と化合物				2	5月13日
3	溶液の性質 固体の構造				3	6月6日
4	遷移元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認				4.5	6月6日
5	化学反応と熱・光				6.7	7月4日
6	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 電池と電気分解				8	7月31日
7	炭化水素 電池と電気分解				9	10月21日
8	化学反応の速さ アルコールと関連化合物				10.11	10月21日
9	アルコールと関連化合物 化学平衡				12	11月11日
10	化学平衡 水溶液中の化学平衡				13.14	12月5日
11	芳香族化合物				15	12月5日
12	高分子化合物				16	1月20日
回	単元時間	学習内容		実施場所	実施日	
1		物質の状態（物質の三態）について理解させる。 周期表と元素を理解させる。		各学習センター	4月	
2		非金属元素と典型金属元素の基本的な知識を理解させる。 気体について知り、気体の状態方程式を理解させる。		各学習センター	5月	
3		溶解について理解させる。 コロイドについて理解させる。		各学習センター	5月	
4		固体の構造（金属結晶・イオン結晶）について理解させる。		各学習センター	6月	
5		遷移元素の特徴について基本的な知識を理解させる。 遷移元素の単体と化合物について理解させる。		各学習センター	6月	
6		金属イオンの分離と確認について理解させる。		各学習センター	7月	
7		化学反応と熱・光について理解させる。 電池と電気分解について理解させる。		各学習センター	7月	
8		有機化合物の特徴と構造について理解させる。		各学習センター	8月	
9		飽和炭化水素と不飽和炭化水素について理解させる。 電気分解について理解させる。		各学習センター	10月	
10		アルコールの構造と分類について理解させる。		各学習センター	10月	
11		化学反応の速さについて仕組みも含めて理解させる。		各学習センター	10月	
12		可逆反応と化学平衡について理解させる。		各学習センター	11月	
13		水溶液中の化学平衡について理解させる。		各学習センター	11月	
14		芳香族炭化水素について理解させる。		各学習センター	11月	
15		高分子化合物の分類と特徴について基本的な知識を理解させる。		各学習センター	12月	
16		高分子化合物の天然高分子化合物と合成高分子化合物について理解させる。		各学習センター	1月	
多様なメディアを利用した学習						
計画段階では実施予定なし						
試験						
回数	試験範囲			実施場所	実施日	
1	レポート1～6			各学習センター	9月	
2	レポート7～12			各学習センター	2月	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準						
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。						
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。						
その他						
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。						